

認知症サポーターの 活動の場の創出

認知症サポーターとは

- ・認知症サポーターとは、認知症サポーター養成講座を受講した方で、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かい目で見守る方のことです。
- ・「なにか」特別なことをする人のことではありません。

キャラバン・メイトとは

- ・キャラバン・メイトとは、認知症サポーターの中で、キャラバン・メイト養成講座を受けた方で、**認知症サポーター養成講座の講師になることができる方**たちです。
- ・また、**認知症サポーターと市の橋渡し役**となり、認知症サポーターの方が活動する際の意見調整を担います。

活動の場の創出について

- ・ 現状、講座を受けた後、日常生活での見守り以外に認知症に関する活動をする認知症サポーターの方は限られています。
- ・ また、「何か人の為になる活動はしたいが、方法が分からない」と意欲はあるのに活動ができていない方もいます。
- ・ そこで、市と包括が中心となり、活動の場の創出について話し合う場を設けました。

話し合いの場 キャラバン・メイト

・キャラバン・メイトのうち、活動について興味のある方たちを集め、6グループに分かれて地域でどのようなことが実現できるかについて話しあいを行いました。

日にち：令和4年6月15日（水）

参加者： 38 名

話し合い キャラバン・メイトまとめ

- ・地域と事業所、行政のつながりを強化する。
 - ・高齢者が事業所にふらっと立ち寄りやすいように、子ども110番のような高齢者向けのマークやシンボルを掲げる。
 - ・認知症の方が気軽に相談できる出張窓口の設置。
 - ・認知症サポーター、キャラバン・メイトの普及。
 - ・市内にあるサロンの活用する。
- など

話し合いの場 認知症サポーター

- ・ 認知症サポーターのうち、活動について興味のある方たちを集め、6グループに分かれて地域でどのようなことが実現できるかについて話しあいを行いました。

日にち：令和4年9月27日（火）

参加者： 46 名

話し合い、認知症サポーターまとめ

- ・普段からの挨拶、声掛けを意識する。
- ・一歩踏み込む勇気を持つ。
- ・気付いたことは包括などへ共有する。
- ・サポーターと民生委員、自治会などで協力する。
- ・相談先の情報をわかりやすくまとめる、発信する。
- ・認知症の方が立ち寄りやすい場所をつくる。

など

今後の予定

- ・認知症サポーターの活動の場の創出として、話し合いで出された内容をさらに具体化して、取り組みを実現していくため、年度内を目途に、改めて協議の場を開催予定。

- ・市としても、キャラバン・メイトと認知症サポーターが活動しやすくなるよう、各種取り組みを実施していく。